

大中校区小中一貫教育たより⑤

1 第2回大中校区会議～指導部会～（10／7）の様子

本紙第③号でもお伝えした小中一貫教育推進のための小中合同会議です。この日は、教頭部会・教務部会・学習指導部会・健康指導部会・児童生徒指導部会を行いました。

各部会ごとに3校職員が一緒に机を囲み、「目指す児童生徒像に迫れているか？」「9年間を意識した教育活動ができているか？」という視点で、現在の児童生徒の様子や教育活動の取組について検証を行いました。

児童生徒指導部会では、目指す児童生徒像「礼儀正しく思いやりのある子供」の重点項目である【あいさつ】について、次のような内容が小中職員で共有されていました。



＜前期/基礎期＞小1～小4：

目標「明るく元気なあいさつができる」

- ①高学年を中心に頑張っている。
- ②場面ごとにあいさつを意識させている。
- ③委員会が中心となりあいさつ活動を進めている。

＜中期/活用・定着期＞小5～中1：

目標「明るい学校づくりを目指して自ら進んであいさつができる」

- ①あいさつ運動や地域探検等により児童生徒の意識向上が感じられる。
- ②小学校では、高学年としての自覚を育てたい。
- ③小中学生が一緒に行う「あいさつ運動」を、小中接続として大切にしたい。
- ④自然にあいさつが広がる環境づくりを工夫したい。（行事・地域との交流等）

＜後期/発展・充実期＞中2～中3：

目標「明るい学校・地域づくりを目指して場に合ったあいさつができる」

- ①登下校時に、地域の方への「あいさつ」を意識している生徒が増えている。
- ②学校行事、あいさつ運動、地域との交流（ボランティア活動等）等、様々な人とふれ合う中で「あいさつ」の習慣を育みたい。

2 大中校区「小中合同引き渡し訓練」の実現に向けた検討について～教頭部会～

教頭部会では、小中合同引き渡し訓練の実現に向けて検討を進めていきます。「大地震発生」等の緊急時、児童生徒の安全を確保するために保護者等への引き渡しになることを想定し、早急に体制を整備することが必要と考えております。

この日の会議では、先進的な自治体や学校の取組等を参考にしながら、大中校区全体の児童生徒数や市街地の学校立地条件を踏まえ、周辺駐車場の混雑や学校周辺（特に隣接する大田原中・西原小）道路の交通渋滞、保護者の小中間の移動・・・等、様々な課題を改めて確認しました。学校だけでなく、学校運営協議会や地域学校協働本部とも連携し、継続して検討を進めていきたいと思っております。